

Webプログラミング(Java)開発実践科

訓練実施施設名	Trust Pro プログラミングスクール		
訓練コース番号	5-07-01-002-02-1007	訓練種別	() 基礎コース・ (○) 実践コース
受講者募集期間	令和 7 年 9 月 1 7 日 (水) ～ 令和 7 年 1 0 月 1 4 日 (火)		

訓練内容	訓練概要		Javaとデータベースを利用したWebアプリケーション開発に関する実用的な知識と技能の習得 【IT資格】 【DSS対応】 【オンライン対応コース(PC及びモバイルルータ貸出なし、オンライン割合11%)】	
	科目		科目の内容	訓練時間
	学 科	入所式・オリエンテーション・修了式	入所式・オリエンテーション（2時間）、修了式（1時間）	-
		安全衛生	情報機器作業と安全衛生	2時間
		就職支援	履歴書・職務経歴書作成・指導、面接指導	4時間
		コンピュータ・ネットワーク概論	コンピュータの仕組みや基礎知識、ネットワークの仕組みや基礎知識	4時間
		情報セキュリティ概論	情報セキュリティ対策	2時間
		データベース概論	データベースの基礎、アーキテクチャー、正規化	6時間
		システム開発概論	開発手法、開発工程、テスト手法	6時間
		Java概論	Java言語の仕様、コーディング規約、開発環境の導入と基本設定	6時間
	実 技	Webページプログラミング演習	HTMLコーディング（構造、テキスト、リスト、テーブル、リンク、画像、フォーム） CSSコーディング（カラー、フォント・テキスト、ボックス、背景） 各ブラウザによる表示確認（使用言語：HTML、CSS、JavaScript）	35時間
		Javaプログラミング基礎演習	Eclipseの操作方法、Javaプログラムの基本構造、変数、演算子、条件分岐、 繰り返し処理（使用言語：Java）	41時間
		Javaプログラミング応用演習	配列、メソッド、クラス、オブジェクト指向の基礎、継承（使用言語：Java）	59時間
		Java例外演習	例外処理のエラー内容と対応（使用言語：Java）	12時間
		Pythonプログラム演習	Pythonプログラムの基本構造、変数、演算子、条件分岐、繰り返し処理、関数、オブジェクト （使用言語：Python）	47時間
		データベースプログラミング演習	データベースのインストール、データベースとの接続設定、データベース操作コマンド、 テーブル操作コマンド、行操作コマンド、テーブル結合、サブクエリ（使用言語：SQL）	30時間
		サーバサイドプログラミング演習	動的なWebページの構築、サーバサイドプログラミング、データベース連携（使用言語：Java）	47時間
		フレームワーク基礎演習	フロントエンドフレームワーク（Spring）の導入と基本的な操作 Springを使用したサーバサイドプログラミング（使用言語：Java）	12時間
		システム開発実務(詳細設計)	【模擬開発演習】照会サイトのモックアップ作成、プログラム仕様設計、テーブル設計、 詳細設計書のレビュー	18時間
		システム開発実務(プログラミング)	【模擬開発演習】詳細設計に基づく照会サイトの実装。JSPとサーブレットによるプログラミング、 チーム開発（Git）	77時間
		システム開発実務(単体テスト)	【模擬開発演習】詳細設計に基づく照会サイトの実装とテスト。単体テスト仕様書を作成、 開発演習（プログラミング）プログラムの単体テスト	18時間
		フレームワーク開発実務	【模擬開発演習】照会サイトの実装、フロントエンドフレームワークを導入したプログラミング、 チーム開発（Git）	53時間
	そ 他	職業人講話： ①「プログラマーとしての心構え」/2時間、 ②「IT業界の現状と将来」/2時間 ③「求められている人材」/2時間		6時間
		企業実習の有無	無し	-

訓練対象者の条件	マウス・キーボード入力（ローマ字入力）が可能な方。オンライン訓練は、PC(OS：Windows11、CPU：corei5以上、メモリ：8GB以上)・Webカメラ・マイク・インターネット環境が用意可能でインターネット接続に詳しい方。（事前導入研修[オンライン接続等の説明を含む]の実施有。訓練実施日は通所で受講可。通信障害が多く発生した場合は通所受講へ切り替えてもらう可能性有。）		
訓練目標 (仕上がり像)	ソフトウェア開発業務に必要な知識や基本的なプログラミングについて、Javaなどの主要言語を用いて学習します。それによりソフトウェア開発や設計業務に活かせる能力を身に付け、Webプログラマーやシステムエンジニアとして従事することを目指します。		
訓練期間	令和 7 年 1 0 月 3 1 日 (金) ～ 令和 8 年 3 月 3 0 日 (月)		
訓練時間	9 時 00 分 ～ 15 時 40 分		放課後、就職支援等を実施する場合があります 詳しくは、当校までお問い合わせください
定員	14 名 (受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります)		
自己負担額 (内訳も記載)	教科書代 5, 0 0 0 円 (税込) オンライン受講の通信費は実費		受講料は無料です

求職者支援訓練 申込方法	① ハローワークにて職業相談（当訓練コース希望の旨を申し出）を行ってください ② 訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書が交付されますので、募集期間内に必要書類と共に住所を管轄するハローワークにて申込み手続きを行ってください ③ 申し込み後にハローワークより交付された受講申込書を「当スクール ※下記参照」へ持参または郵送にて、ご提出ください		
ハローワーク受付後の 受講申込書提出先	宛先：株式会社トラストフォース（Trust Pro プログラミングスクール） 住所：〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 3 番 北一条大和田ビル1F		
	TEL番号： (011) 211 - 8047		
	問い合わせ担当者名： (高橋) / 受付時間： (平日 9 : 00 ～ 18 : 00)		

PRポイント

(就職支援の内容、過去に実施した求職者支援訓練の実績等)

ITSSレベル1以上のIT資格を目指すコース・DX推進スキル標準対応訓練コース・オンライン対応コース

Web (Java) プログラミング開発実践科



Trust Pro プログラミングスクール

～最短でプログラマーを目指す訓練内容を用意～

いま目指すなら Webプログラマー!!

就職目標

Webプログラマー/システムエンジニア

実践的なプログラム開発演習もあるので就職にも有利！
エンジニアとしての需要がとても高い Java を用いて学習！受託開発、派遣・SES を経験し、
現在も自社パッケージ開発責任者
でもある現役エンジニアが講師と
して訓練を実施ソフトウェア開発元
だからできる
4つの特長訓練実施機関はソフトウェア開発
企業の為、**実践に役立つ**訓練内容
を盛り込んでいます現役エンジニアが講師の為、
業界の状況や就職を見据えた
確かなアドバイスができる他の訓練にはない**本番プロジェクト**でも使う**技術やツール**を開発演
習として実施します◀ホームページ <https://www.trust-school.com/> ●講師の紹介や、スクール内の様子も掲載しています

修了後に取得できる資格

名称 (	Oracle Certified Java Programmer, Silver (OCJ-P)	認定機関 (	日本オラクル株式会社	✓	任意受験
名称 (	基本情報技術者試験	認定機関 (	情報処理推進機構	✓	任意受験

選考日時	令和 7 年 10 月 20 日 (月)	最寄駅から選考場所までの地図		同住所に「おおわだビル」が ございますが、当スクールの 所在地は 【北一条大和田ビル】 ※トヨタと郵便局の間のビル となります お間違えないよう ご注意ください
持ち物	筆記用具			
選考結果通知日	令和 7 年 10 月 23 日 (木)			
選考方法	面接、筆記試験			
選考会場の住所	札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 3 番 北一条大和田ビル 1 F Trust Pro 教室内			
最寄駅	地下鉄大通駅から徒歩 10 分 JR札幌駅から徒歩 15 分			
		駐車場の有無	☒ 無し ☐ 有り	(有りの場合、台 円)

訓練実施機関名	株式会社トラストフォース	訓練コース説明会等	～ 訓練内容説明会 ～ ※事前予約が必要です。	
訓練実施施設名	Trust Pro プログラミングスクール		● 訓練会場の見学や訓練内容の詳細等を担当講師から直接ご説明します ● 募集期間中は随時開催しておりますので、お気軽にご相談ください お問い合わせはこちらまで	
訓練実施施設の住所	〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 3 番 北一条大和田ビル 1 F			
TEL 番号 (お問い合わせ先)	011 - 211 - 8047		上記地図参照	
お問い合わせ担当者 (受付時間)	担当：高橋 (平日 9 : 00～ 18 : 00)			
最寄駅	地下鉄大通駅から徒歩 10 分 JR札幌駅から徒歩 15 分	最寄り駅から	駐車場の有無	☒ 無し ☐ 有り
職業訓練受講給付金		一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金(受講手当：月額 10 万円、通所手当)が支給されます。詳しくは、住所を管轄するハローワークの担当窓口にお尋ねください <新型コロナウイルス感染症対策> マスク着用の周知徹底、こまめな換気・入口に消毒液を設置、共用部分の定期的な消毒に取り組んでおります		